

出張×SDGs

これから求められる持続可能な出張とは

株式会社トップレップ

「SDGs」とは

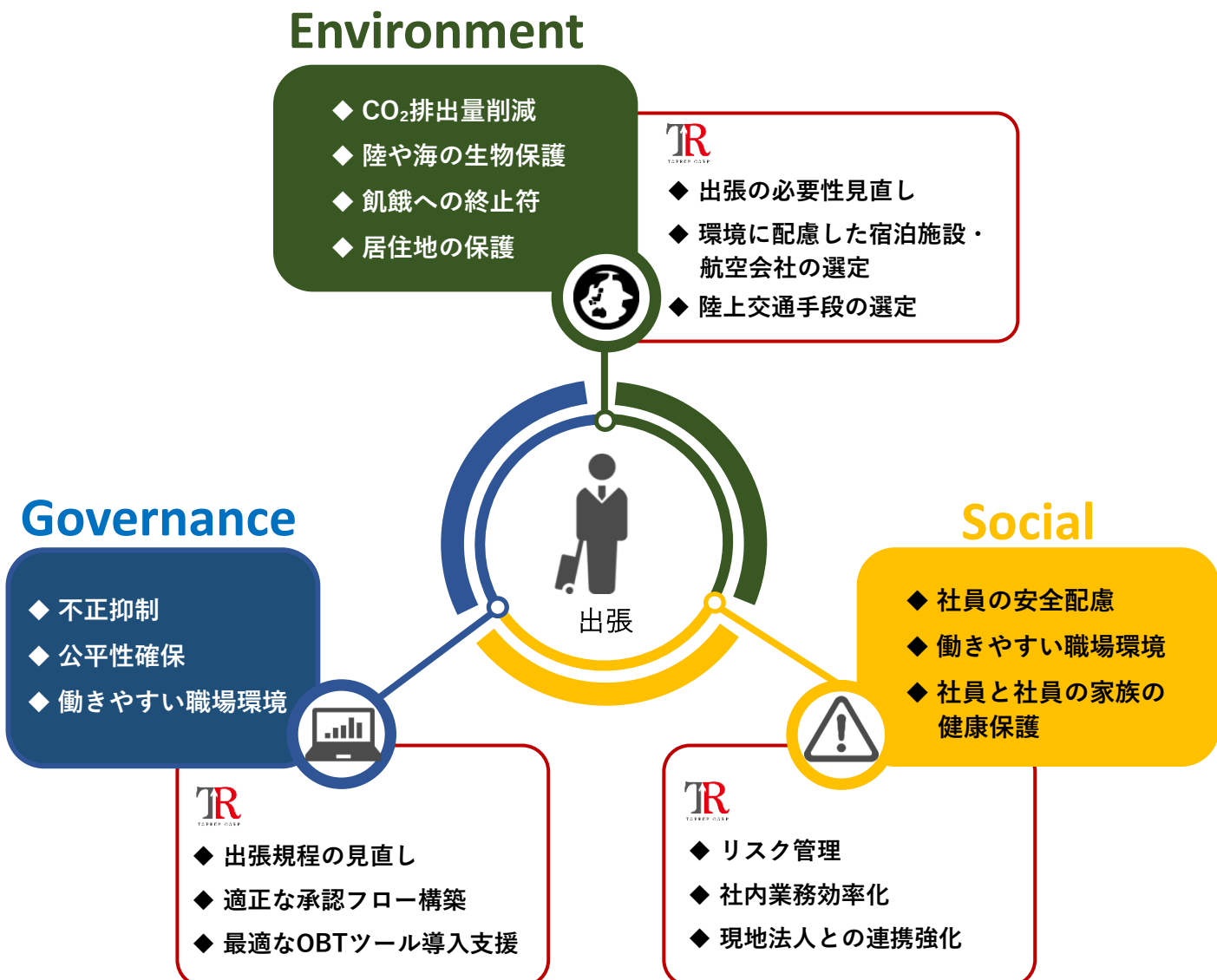
Sustainable Development Goals 「持続可能な開発目標」

2000年に採択されたミレニアム開発目標に続いて、2015年9月に2030年までの目標として採択されたのが、このSDGsです。SDGsは、貧困を撲滅し、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットからなる目標を掲げています。

世界共通言語として認識されている『SDGs』の枠組みの利用による企業価値の向上や、ESG投資の広がりなどを理由に、近年では様々な企業がサステナビリティ活動に力を入れています。

「出張管理」×「SDGs」

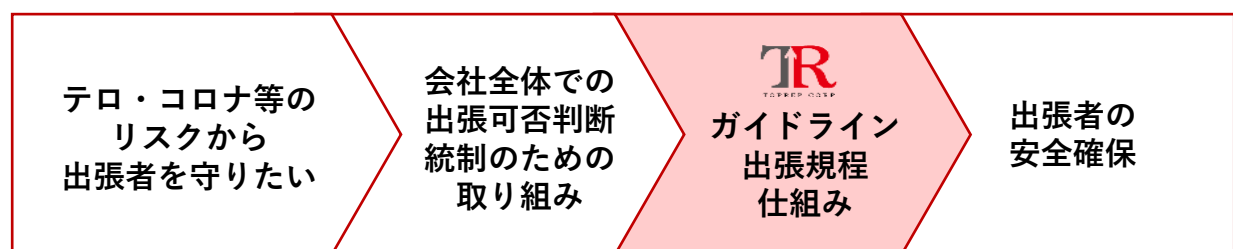
多くの企業にとっても必要不可欠な出張は、SDGsの社会課題を解決するための大きな切り口の一つとなります。ここでは、どのような出張管理を行うことがどのような社課題解決につながるのか、一例をご紹介します。



「リスク管理」×「働きがい」

ウィルスの流行や飛行機の遅延、テロの発生リスクなど、出張には少なからずリスクがつきものです。また、そんな不安が付きまといままでは、せっかくお金と時間をかけた出張でも思うように力が発揮できません。どのようなトラブルが生じた場合にも、サポート体制を万全にしておくことが出張者のパフォーマンスを向上させるだけではなく、出張者の健康・安全の保護にもつながります。現地法人との連携の強化や出張の「リスク管理」が、より働きやすく、働きがいのある職場環境を実現させるのです。

さらに、社員の安全を確保するためには出張可否判断の統制強化が必要不可欠です。出張申請が承認された段階で、社員に対して出張命令が下ったことになり、会社の責任となります。多くのリスクがある中、社員や社員の家族の安全と健康を保護するために、出張の『必要性』の基準を導入した、仕組みづくりが求められます。



「出張の必要性見直し」×「CO₂排出量削減」

いつもの通りの出張でも、その1回の出張が大量のCO₂を排出しています。

例えばアメリカのニューヨークに出張するだけでも約1トンのCO₂を排出します。これは杉の木71本が1年間に吸収するCO₂量とほぼ同等とされています。座席クラスを1つ上げると一人当たりの占有面積が大きくなる為、約2倍のCO₂を排出しているとみなされてしまいます。このことから、1回の出張を削減することでCO₂排出量削減に貢献できることは明らかなです。しかし、出張は企業成長のために必要不可欠であるため、最適人数の設定やWEB会議への変更の可否等、今までの出張の見直しを行うことが必要になります。

また、出張の必要性を見直すことで、一回の出張のパフォーマンス向上や、精神的・身体的な負担の軽減にもつながります。出張承認の段階で従来のコスト基準のみではなく、『必要性』の基準を導入することによってコスト削減だけではなく、CO₂排出量削減、社員の負担軽減も可能にします。

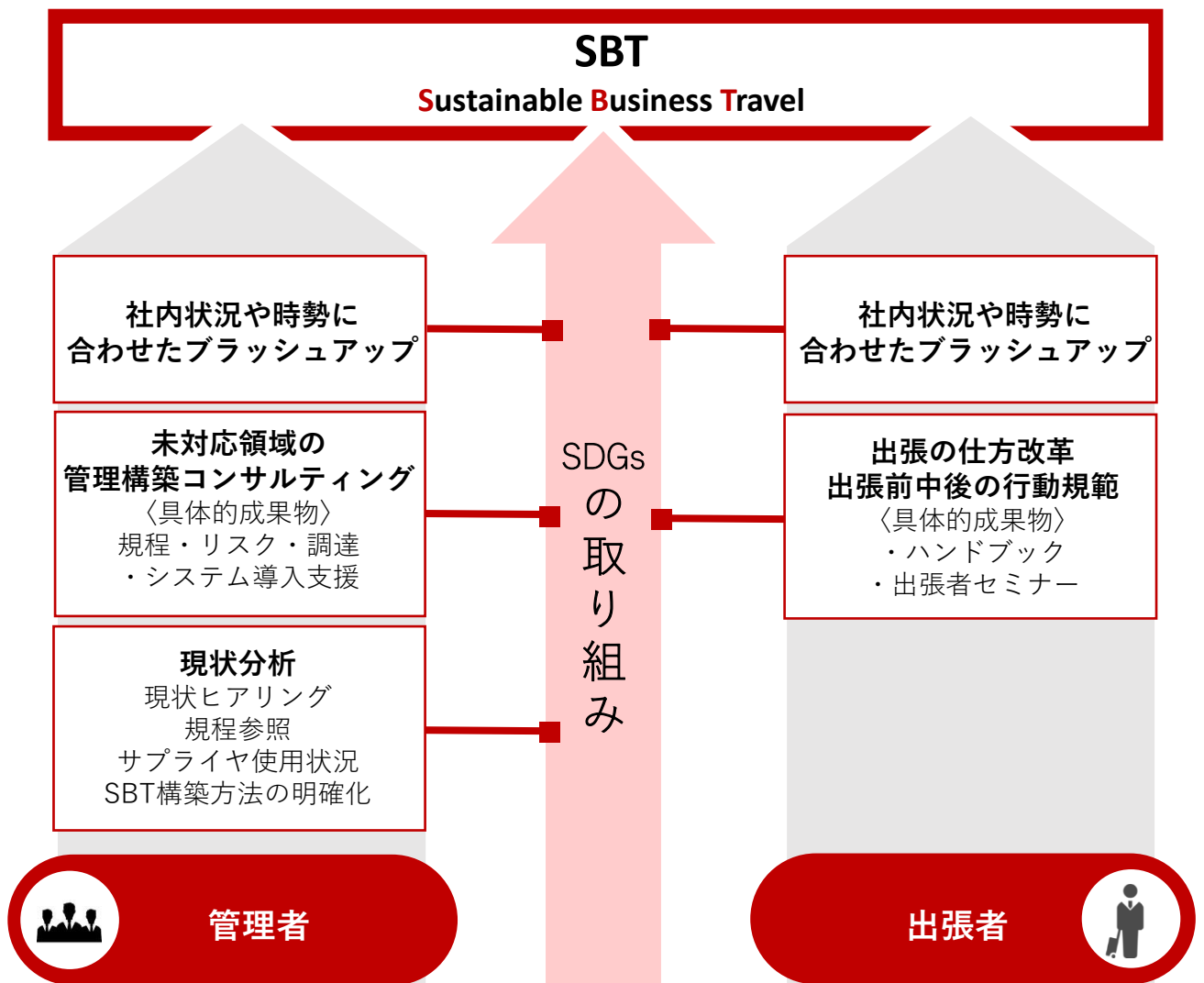
出張先	移動距離 (往復)	排出量 (エコノミー)	排出量 (プレミアム)
羽田⇄北京	4,178km	311.6kg	623.2kg
羽田⇄シンガポール	10,592km	595.6kg	1,191.0kg
羽田⇄ニューヨーク	21,742km	946.2kg	1,892.6kg

出典元：ICAO Carbon Emissions Calculator

SBT-Sustainable Business Travel-

トップレップではSBT（Sustainable Business Travel）サービスを提供しております。SBTは、企業活動に必要不可欠な出張を時代や環境に合わせてブラッシュアップし、持続可能な企業成長を実現する出張管理方法構築支援サービスです。これからは社員と会社、そしてそれを取り巻く社会に配慮した出張管理をすることが、持続可能な企業成長のために求められます。

このSBTのサービスには、出張における「リスク管理」や「環境・安全配慮に適した選定」など、社員の安全や働きやすさ、自然環境を守るための指標等、SDGs課題解決に向けた取り組みに結びつくものが多数あります。企業としての**SBT**を完成成させることで、企業成長を加速させ持続可能にするだけでなく、その過程がSDGsの掲げる目標達成のための取り組みとなります。



多種多様な取り組み

ご紹介した課題解決策の他にも、様々な取り組み方法があります。「社員のパフォーマンス向上に力を入れたい」「自然環境に配慮した出張を実現したい」「社員の安全を完璧に守りたい」など、皆様の求める企業の在り方や強みを生かした取り組みを実現することが、持続可能な企業や社会をつくり出します。トップレップでは出張管理コンサルタントとして、お客様とともに課題解決に向けてプランニングからデータ分析までサポートさせていただき、理想の企業の姿の実現へと導きます。

お問い合わせ窓口のご案内

ご不明な点のお問い合わせや、さらに詳しく聞きたいというご要望などがございましたら、下記連絡先までお気軽にご連絡ください。弊社のコンサルタントがわかりやすくご説明させていただきます。

Tel : 03-6635-6610

Email : info@toprep.co.jp

担当 : 樋下田(ひげた)

営業時間 : 平日 9:00 – 17:00

ホームページからもお問い合わせいただけます。

<https://www.toprep.co.jp/>

株式会社トップレップ / TOPREP CORPORATION

東京都港区浜松町2-6-2 浜松町262ビル

<https://www.toprep.co.jp/>

2015年にトッパングループより出張旅費専門のコンサルタント会社として設立されました。

従来のコンサルティング会社とは異なる専門的アプローチから、グローバルで活躍する企業を対象として、間接費の中でも特に大きな割合を占める出張費の削減・最適化を主軸に、旅費規定やご出張者の安全配慮、サプライヤ契約内容等の交渉代行およびコンサルティングを展開いたします。

TOPREPの詳細については <https://www.toprep.co.jp/> をご覧ください。

Copyright TOPREP CORPORATION All Rights Reserved.

本文書は、情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。

本文書は、その内容に誤りがないことを保障するものではなく、正確性、信頼性、完全性、新しさに問題があった場合、または本文書のご利用に際して生じた利用者と第三者との間のトラブルが発生した場合について、いかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。

本文書は株式会社トップレップの著作物であり、いかなる目的のためにも当社の事前の承諾なく本文書の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することはできません。